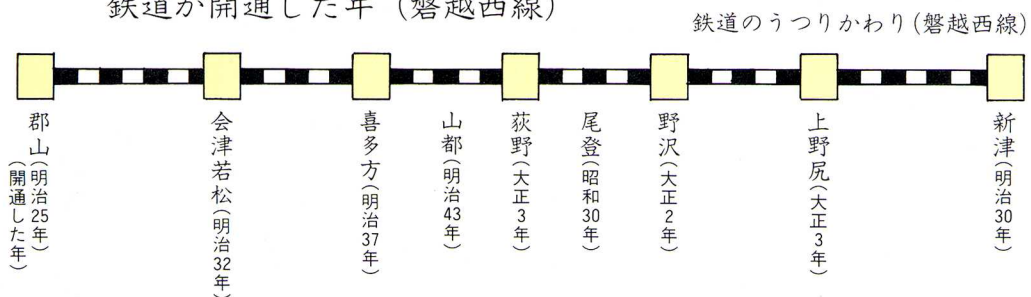


てつきょう
鉄橋をかけたり、トンネルをほったりしなければならなかったので大
変くろう
苦勞しました。いくつもあるトンネルに使われているレンガは、しお
塩
つぽ ふきや
坪と吹屋にレンガ焼き場をつくり、そこで焼かれたものです。昭和47
年(1972年)からは、それまでのじょうき きかんしゃ エスエル
蒸気機関車(SL)にかわってディー
ゼル機関車が走るようになりました。

鉄道が開通した年(磐越西線)



鉄道がしかれて、交通が便利になると、人や物の行き来がさかんになりました。

荻野駅からは荻野石や木炭、まき、木材(杉や桐など)がたくさん運び出され、運ばれてきた物の多くは肥料でした。また、荻野駅と新郷発電所の間にも上流からの木材を運ぶための鉄道が走っていました。



昭和35年ころの荻野駅



昭和51年落成の荻野駅

近ごろは、自動車の発達で、鉄道を利用することがずいぶんへりました。しかし、今でもわたしたちのくらしにとって鉄道は大切な乗り物になっています。昭和60年(1985年)から荻野駅は無人的になり、高